

特別の教科 道徳

道徳科では、生徒の道徳性を養うために、学習指導要領解説の内容の正しい理解に基づき、授業者の意図や生徒の実態、本時で扱う教材を踏まえた指導の明確な意図をもつことや、道徳科の目標に基づいた学習指導過程を構成することが大切です。

□ 授業者が明確な指導の意図をもつこと



授業を構想する際に、次の3点について明らかにしました。

(1) 授業者の意図

学習指導要領解説の内容項目を確認し、ねらいとする道徳的価値について、**本時でどのような指導が必要**だと考えているかを明らかにします。

(2) 生徒の実態

本時でねらいとする道徳的価値について、**日常の道徳教育でどのような指導を行い、その結果、生徒にどのようなよさや課題**が見られるかを明確にして、本時で**特に考えを深めさせたいこと**を明らかにします。

(3) 教材の活用

本時でねらいとする道徳的価値を踏まえ、授業者の意図、生徒の実態を基に、**発問の仕方など教材の活用の仕方**を明らかにします。



これまで日常の教育活動における指導として、生徒会活動の「いじめ撲滅～行動宣言～」の取組や、国語科の「読むこと」の「故郷」では、登場人物の弱さや苦悩を中心に読みを深め、誰もがもつ人間としての弱さについて考える機会を設けたところ、**他者への配慮ができるようになった生徒が増え**ました。一方で、一部の生徒においては、**自己中心的な考え方や偏った見方**をしたり、多数の意見に同調したりするだけで、**制止できない場面**があるなどの課題が見られました。これらの**指導の成果と課題や生徒の実態を踏まえて授業を構想**し、次のとおり学習指導案に示しました。

主題名：あなたの身近にいじめはありますか〔C 公正、公平、社会正義〕
教材名：卒業文集最後の二行（「私たちの道徳 中学校」文部科学省）

学習指導案の一部を抜粋

(1) ねらいとする道徳的価値〔授業者の意図〕

正義を重んじる」ということは、正しいと信じることを自ら積極的に実践できるように努めることであり、「公正さを重んじる」ということは、私心にとらわれて事実をゆがめるようなことを避けるように努めることである。(略)

指導に当たっては、「見て見ぬふりをする」や、「避けて通る」という消極的な立場ではなく、不正を憎み、不正な言動を断固として否定するほどのたくましい態度を育てていきたい。

(2) 生徒の実態〔生徒の実態〕

生徒が自ら、不正を憎み、不正な言動を断固として否定するほどの、たくましい態度を育てるために、道徳科以外では、次のような指導を行ってきた。

これらの取組を通して、この世の中から、あらゆる差別や偏見をなくすよう努力し、望ましい社会の理想を掲げ、正義が通り、**公平で公正な社会の実現に積極的に努めることの大切さについて指導したい。**

(3) 教材について〔教材の活用〕

本教材は、筆者の小学生の頃のいじめの体験から、自他の不正や不公平を許さない姿勢と差別や偏見をなくす努力について考えを深めることのできる教材である。(略)

中心的な発問では、「いじめは人間として絶対に許されない」ことについて、多面的・多角的に考えられるよう、「三十年余り過ぎた今でも、作者がT子さんのことを思い出して涙をこぼしてしまう」の意味に着目して話し合わせたい。

□ 道徳科の目標に基づいた学習指導過程を構成すること



道徳科の目標に基づいた学習指導過程を構成するために、読み物教材の登場人物の心情理解のみに終始する活動や、望ましいと分かっていることを言わせたり書かせたりすることに終始する活動ではなく、生徒が**道徳的価値を自分事として捉え、人間としての生き方について考えを深めることができる学習活動**を位置付けました。

	●学習活動 ○主な発問 (◎中心的な発問) ・生徒の反応	
導入	●本時で学習する価値について確認する。 ○公正を重んじ、公平に接することについて考えよう。 ・自分は、「いじめ」まではしていないと思う。	自己を見つめ
展開	●教材「卒業文集最後の二行」を読んで話し合う。 ◎三十年余り過ぎた今でも、作者がT子さんのことを思い出して涙をこぼしてしまうのはどうしてだろうか。 ・自分には考えたことを行動に移す勇気がなかった。 ・T子さんにしたことは、一生取り返しがつかないから。 ○これまでの自分の考え、行動を振り返ろう。 ・自分は間違っていると気付いたが、自分を正当化することしかできなかった。	物事を多面的・多角的に考える
終末	●自分と向き合い、考えたことを交流する。 ○これまでの自分の生き方やこれから目指す生き方について人間としての生き方について考えを深める を通して感じたことや考えたことを書こう。 ・孤立している人に謝り、味方になることは相当な勇気と優しさが必要だと思った。	

学習前



先日、友達が嫌な思いをしているのを見たときに、何もできなかったことがあったな…。

学習中



自分はいじめはしていないつもりだったけれど、相手の立場から考えると、嫌な思いをさせてしまったことがあったかもしれないな…。

学習後



友達との交流を通して、いじめはその場にいた全員を傷つけ、時間が消してくれるものではないことに気が付いた。